

3 年 学 年 通 信

第 2 号 平成 2 3 年 4 月 1 5 日 大江高等学校 第 3 学年部発行

◆ 第 3 学年部からのメッセージ ◆

今回は、第 3 学年部の副担任となった先生からメッセージをいただきました。メッセージに込められた思いをしっかりと受け止めてください。

なお、2 組副担任は北川学年部長が兼任します。

1 組副担任 かたおか あけみ 片岡 あけみ 先生 (教科：英語／クラブ：ソフトボール部)

今年工業高校から赴任し、1 組の副担任となりました。教科は英語で、3 年の生活英語と総合英語 B を担当します。わからないことが多いので、尋ねられたら優しく教えてください。1 年間よろしくお願いします。

普段は進路情報センターにいます。主に小西先生のサポートで就職を担当します。今年は近年の不況に加え、震災の影響で就職活動がいつそう厳しくなると思われます。その状況を切り開くのは、あなたたちの努力しかありませんが、できる限りサポートをしたいと思いますので、積極的に進路情報センターに話をしに来てくれるとうれしいです。

3 組副担任 こにし まさき 小西 正樹 先生 (教科：商業／クラブ：情報部)

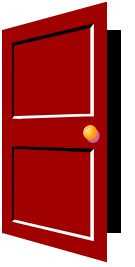
3 組の副担任の小西です。授業では、課題研究やビジネス実践、ITエンジニアリング演習で 3 組のみなさんと多くの時間を過ごします。これからもよろしくお願いします。いつもは進路情報センターで主に就職担当の仕事をしています。3 年生のみなさんとは就職活動のことで接する機会が多くなりますが、進路について十分なサポートができるように精一杯がんばりたいと思っています。

3 年生の今ごろは将来の進路について迷っている時期だと思います。自分の進むべき道をしっかり見据えて、準備していきましょう。これからのみなさんにとって大切なことは、思いをかたちにすることだと思います。

◆ 学年のスローガン・目標 ◆

～ 開けよう！ 未来への扉！ ～

- ①教室美化
- ②携帯電話禁止
- ③社会に通用する言葉遣い



ほとんどの人が、「3 年生になった」「いよいよ最後、大事な学年なのだ」という自覚を持っているようです。授業中の態度だけでなく、学校生活のさまざまな場面で、高校 3 年生としてふさわしい行動が見られることから、それがわかります。自覚がない人、高校 3 年生になりきっていないのは、ほんの一握りの人でしょう。

しかし、その「ほんの一握りの人」のために、周りの多くの人が迷惑を被るようなことがあってはいけません。高校 3 年生になりきっていない人、大事な学年なのだという自覚がない人、今すぐ心を入れ替えてください。具体的に改善すべき点を以下に示します。

①服装、頭髪等の身だしなみを正してください。

3 年生が主に使っている HR 棟 1 階は、外部からのお客さんが頻繁に通るルートでもあります。「外部からのお客さん」とは、大学・専門学校や企業の方です。大江高校が外部からどのような評価を受けるのかが、3 年生の身だしなみや振る舞いによって決まるのです。同時に、自分たちの希望進路実現にも大きく関わってきます。

また、校内だけでなく校外でも、常に「大江高校の生徒として見られているのだ」という意識を持ってください。正しい身だしなみを、朝家を出るときから意識してください。福知山駅でも、KTR の車内でも、君たちは大江高校生として見られているのですから。自分の日々の振る舞いが、自分の将来だけでなく、周りの人たちの将来にも直結するのだということを覚えておいてください。

②提出物等の提出期限を厳守してください。

「希望進路調査」「大学入試情報等の提供に係る同意書」の提出期限は本日です。未提出の人、いませんか？ 就職や進学書類は、1 日遅れただけでも受け付けてもらえません。社会では、期限厳守が当然なのです。高校卒業までに、社会では当然とされているマナーやルールをしっかりと守れるようになっておきましょう。今後、進路に関する重要な書類や提出物が増えます。期限遅れのないようにしてください。

(裏面に続く)

③正しい敬語を使ってください。

就職や進学試験では、面接が課せられることがほとんどです。まず、その試験の場で正しい敬語が使えるようになっておく必要があります。また就職の人は、入社後最低でも1年間は「社会人1年目」な訳ですから、周囲の先輩たちに対して、ずっと敬語を使うこととなります。就職、進学試験のため、さらにその先、社会に出た時に恥ずかしい思いをしないために、正しい敬語が使えるようになりましょう。その練習の場が学校なのです。

「授業を大切にする」「教室美化を心がける」などは、高校3年生ならできて当然のことですので、ここでは述べません。この「高校3年生ならできて当然のこと」すら満足に出来ない人がもしいるならば、最高学年であること、1年後には社会に出て行くのだということを自覚し、すぐに正してほしい。それができない場合は、今まで以上に厳しく、担任から、またそれ以外の先生からも指導することになるでしょう。

始業式で校長先生は次のように話されました。

「重い荷物と軽い荷物があれば、重い方を選べ。

重い荷物を持つ方が幸せになれる。」

サンタさんのプレゼント袋は、大きくて重い方が、中身のある、もらって嬉しいプレゼントが入っている可能性が高い、と思いませんか？ みなさんには、ぜひ重い荷物（厳しい試練や自分を高めるための努力）を選んで持って欲しい。持てるだけの力や姿勢を身につけてほしい。その方が、みなさんの将来が明るいものになるからです。



◆ 面談について ◆

4月18日（月）から面談週間が始まります。2月に面談を実施した時点で、多くの方が明確な目標を持っていましたし、春休みの間にも、進学講習を受けたり、オープンキャンパスに行ったり、希望進路実現のために前向きに進んでいる人がたくさんいます。来週から始まる面談で、目標があやふやであったり、目標達成のための努力が足りないなど、自分の課題に気付いた人は、すぐに動きましょう。 *Now is the time!*

*次号の学年通信は、5月上旬の予定です。

*大江高校の最新情報は、下のアドレスで随時公開しています。

ホームページ用：www1.kyoto-be.ne.jp/ooe-hs/

携帯用：www1.kyoto-be.ne.jp/ooe-hs/m/ 上のQRコードをご利用ください。



◆ 歴史のひとこま ◆

4月12日は「世界宇宙飛行の日」です。1961年のこの日、ソ連（今のロシア）の有人宇宙船ウォストーク1号が打ち上げに成功。1時間48分かけて地球を1周して帰還し、世界初の有人宇宙飛行となりました。乗り込んでいたのは、27歳のユーリ・ガガーリン。彼が帰還後の記者会見で語った「地球は青かった」の言葉は有名です。

人類が始めて空を飛んだのは、1903年。ライト兄弟によるこの初飛行は、わずか59秒、260mでした。その初飛行から60年も経たないうちに、人類は空だけでなく宇宙にまで行動範囲を広げました。そう考えれば、人類の進歩、科学技術の発展にはめざましいものがあります。この人類の華々しい進歩を象徴し、人類の叡智を讃えるのが「世界宇宙飛行の日」。こうとらえることができるでしょう。

ところで、無人の人工衛星を初めて打ち上げたのもソ連でした。1957年10月4日、ソ連はスプートニク1号の打ち上げに成功し、アメリカは「スプートニク・ショック」といわれる衝撃を受けました。宇宙空間にまで人工衛星を打ち上げられるロケットを持つということは、大陸を越えてミサイルを打ち込めることを意味するからです。これに危機感を感じたアメリカは、ますます核兵器の開発に力を入れ、米ソの核開発競争が激化していきます。「宇宙へ行く」という人類の夢、その先に広がるであろう華々しい未来と可能性、科学技術の発展や人類の叡智を讃えるこの宇宙開発計画は、軍事計画と切り離せないものだったのです。そもそもライト兄弟の初飛行も、兵器としての利用価値があるとにらんだ軍部が、兄弟に資金的援助をしたことで実現可能となったものでした。

ここで覚えておいてほしいのは「どんな出来事も、ある一面だけを見ては真実を知ることができない」ということです。2年では世界史で歴史上のさまざまな出来事を学習しましたので、どんな歴史的事象にも良い面、悪い面、良いとも悪いとも判断できない面があり、そのとらえ方は立場によっても違うのだということを学んだと思います。ギリシャの哲学者プロタゴラスも「どんな問題にも両面がある」と言っています。

「一つの事実に対していろいろな見方ができる。客観的事実は一つでも、真実を一面的に語ることはできない。自分のとらえ方だけが正しいという思い込みは危険である。」このことを頭において、今後の学校生活を送ってください。もちろん学校内だけでなく、社会に出たときに必要とされる他人とのコミュニケーションにおいて、また人間関係を構築する際にも、このことは当てはまるでしょう。みなさんが残りの学校生活でより深く学び、良好な人間関係を築くことができる大人となって卒業してくれることを期待しています。

*上記のコラムは、O E - S t u d yポータルサイトに掲載したものです。このサイトでは、現在大江高校で取り組んでいるフロンティア事業の概略、学習ノウハウなどの紹介もしています。併せてご覧ください。

O E - S t u d yポータルサイト：<http://crsel.jp/oestudy/>